

IBOR 廃止とそのフォールバック

2018年9月4日（火）開講

OTC クオンツスクール

キーワード：2006 ISDA Definition, IBOR fallback, Risk-free rate(RFR), Adjusted RFR, Spot overnight rate, Convexity-adjusted overnight rate, Compound setting in arrear rate, Compound setting in advance rate, Spread adjustment methodology, Forward approach, Historical mean/median approach, Spot-spread approach, Multiple curves, OIS discounting, IBOR curve

今年の7月にISDAから銀行間オファークレジット率(IBOR)が廃止された場合のフォールバックに関する市中協議文書が公表された。この市中協議文書では、デリバティブで参照されているIBORを通貨ごとに決められた”リスクフリー金利”(risk-free rate) + スプレッドで置き換える際のリスクフリー金利を同等のターム物金利にするための調整方法とスプレッドの決め方の案を具体的にいくつか提示して、これらに対する意見をマーケット参加者に幅広く募っている。IBORのフォールバックに関する市中協議文書が公表されたことで、一気にIBOR廃止は現実味を帯びてきた格好だ。

今回のセミナーでは、1) IBOR廃止問題の背景、2) ISDAが提示しているいくつかのリスクフリー金利のターム調整とスプレッドの決め方を詳しく解説して、3) IBOR廃止に際してのデリバティブのシステム手当についても考察していきたい。

概要

- IBOR廃止問題の背景やIBORの代替としてON金利以外の方法も検討する。例えば、円LIBORは円TIBORに、またIBORがそのタームに相当するOISスワップ金利に代わるという方法も考えられるが、なぜこれらの代替案は採用されないのかを考察する。
- ISDAが提案している4つのリスクフリー金利の調整方法である、1) Fixing日のON金利をターム物金利の調整なしに使う、2) Fixing日のON金利をターム物金利として使うことに対する”Convexity”を調整する、3) OISの変動サイドと同様にON金利で利息期間を日々コンパウンドする方法、4) ON金利で1期前の利息期間を日々コンパウンドした金利を、後払いであることの”Convexity”を調整する方法、を詳細に解説して、これらのフォワード金利の計算方法や問題点を示す。
- ISDAの市中協議で提案されている3つのスプレッドの決め方である、1) IBORと調整リスクフリー金利のフォワードレートの差からスプレッドを決める方法(フォワード法)、2) IBORと調整リスクフリー金利のスポットレートの差からスプレッドを決める方法(スポット・スプレッド法)、3) スポット

- スプレッドをある長い期間の平均や中央値とする方法(ヒストリカル法)、をそれぞれ詳細に解説する。
- ・ フォールバック条項が決まったぐらいからのマーケット慣行の変化を予測して、現行の LIBOR カーブ中心のマルチカーブ構築から、どのようにマルチカーブ構築方法が変わるのかを考察する。

セミナー対象者

- ・ 金融機関でマーケット部署やリスク管理部署の方、内部監査に携わる方
- ・ 規制とリスク管理関係のシステム構築に携わる方
- ・ 金融機関の規制担当、及びレギュレーターの方

講義日程

日程： 2018年9月4日(火)

時間： 18:00 – 21:00

会場： JAビル カンファレンス 401B

定員： 20名 (申し込み人数が定員になった時点で締め切らせていただきます)

担当講師

高田勝己 (株式会社 Diva Analytics 代表取締役)

平成元年、一橋大学経済学部卒業。日本債券信用銀行 資金証券部、さくら銀行 商品開発部、コムツ証券会社 債券部トレーディングデスク で金利、為替レート、株式、クレジットのクオンツを務める。ペアースターズ・ジャパン 債券部 で金利・為替エキゾチック・トレーダー、RBC(Royal Bank of Canada) キャピタルマーケット・ジャパン デリバティブ・トレーディングデスクでヘッドトレーダーを経て、現在、株式会社 Diva Analytics にてデリバティブ、XVA や規制資本のモデルに関するシステム開発とコンサルティングに従事する。東京大学大学院経済学研究科で非常勤講師を務め、デリバティブモデルの C++でのプログラミングを担当。

シカゴ大学 MBA Analytic Finance 専攻。東京大学大学院 数理学科研究科 後期博士課程単位取得退学。

受講料

50,000円 (税抜)

お申込み

OTC クオンツスクールのホームページ <http://www.divainvest.jp> から申し込んでください。

講義内容

- | | |
|----------------------|-----------------------------------|
| ・ IBOR 廃止問題の背景 | ・ Convexity とは |
| ・ IBOR の代替金利 | ・ IBOR フォールバックでのスプレッドの決め方の ISDA 案 |
| ・ リスクフリー金利 | ・ 今後のデリバティブ・マーケット |
| ・ 調整リスクフリー金利の ISDA 案 | ・ IBOR 廃止に際してのカーブ構築のシステム対応 |

(注) 講義内容は見直し等により変更になる場合があります。